論文

「世界最速・最高品質の特許審査を基礎としたイノベーション創出支援」を実現するために、「特許審査のレジリエンス向上による迅速性の維持」、「質のさらなる向上」、「環境変化に対応したイノベーションの創出支援」及び「知財外交の推進」といった柱が挙げられているが、これらの実現に向けて、あなたが考える現在の課題を設定し、その課題に対し日本特許庁が取るべき対応、及び、ご自身の経験を踏まえてどのような貢献ができるか具体的な内容について、2000字以内で述べること。

|  |
| --- |
| **＜回答＞** |
|  |